

能楽研究 7巻 : 奥付

(雑誌名 / Journal or Publication Title)

能楽研究 : 能楽研究所紀要

(巻 / Volume)

7

(開始ページ / Start Page)

198

(終了ページ / End Page)

198

(発行年 / Year)

1982-03-31

同朋学園仏教文化研究所紀要 第2号(昭55)

同朋学園仏教文化研究所

日本歌謡研究 第19号(昭55)

日本歌謡学会

日本古典文学会報 第1号～82号(昭47～55)

日本古典文学会

能 昭和55年4月～56年3月

観世能楽堂

能 昭和55年4月～56年3月

京都観世会館

能 昭和55年4月～56年3月

宝生能楽堂

能 研究と評論 第9号(昭55)

月曜会

能楽タイムズ 昭和55年4月～56年3月(337～348)

能楽書林

能楽の友 昭和55年4月～56年3月(160～171)

能楽の友社

能楽評論 第36～43号(昭55・56)

能楽評論の会

仏教大学大学院研究紀要 第8・9号(昭55・56)

仏教大学学会

文学史研究 第20号(昭55)

仏教大学

大阪市立大学国語国文学研究室内文学史研究会

文芸論叢 第13～16号(昭54・55・56)

大谷大学文芸研究会

文 林 第14号(昭55)

松蔭女子学院大学国文学研究室

宝 生 第29卷4号～第30卷3号(昭55・56)

わんや書店

法政史学 第32・33号(昭55・56)

法政大学史学会

法政史論 第7号(昭55)

法政大学大学院日本史学

みやび 第8～11号(昭55・56)

コミュニケーションサービスKK

武蔵野女子大学紀要 第15号(昭55)

武蔵野女子大学

山邊道 第24・25号(昭55・56)

天理大学国語国文学会

論文集 第14号(昭54)

園田学園

〔編集後記〕

今号には論文三篇と目録、および研究展望・能界展望(55年)を載せた。表所員の論文は宝山寺本「風姿華伝」「至花道」の筆者が竹雲軒で、しかもその竹雲軒が車屋謡本の鳥養宗断であることが精細に解明し、片桐所員の論文は前号に続き日吉大夫の事跡を追究し、西野の論文は享保前後を中心に江戸期の新作謡曲の考証である。竹本所員作成の目録は笛伝書を主体とする毛利藩由良家伝来の能楽関係文書目録で次回に続く。

展望は前号でお断りしたように今号に廻したもので、彙報も56年3月までの分である。80年館に移った4月以降の活動その他については次号に報告したい。また、57年4月に研究所は創立三十周年を迎える。10月に記念能を予定し、その準備を進めている。大方のご支援をお願い申しあげる。

(西野 春雄)

昭和五十七年三月三十一日 発行

能 楽 研 究 第七号

102 東京都千代田区富士見二一七七一

〇三一二六四一九八一五

編集兼
発行者野上 法政大学能楽研究所
記念

所長 加 来 彰 俊

印刷所

三 和 印 刷 株 式 会 社

長野市川中島一八三三一一